

# がんばってます！ 繊維学部

平成23年3月11日に発生しました東日本大震災により、犠牲になられた多くの方々のご冥福をお祈りするとともに、そのご遺族に対しては、心よりお悔やみを申し上げます。また、被災された皆様には謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

信州大学では、3月12日の後期日程入学試験受験生への対応、入学手続きに関する配慮、授業料の口座引落とし日延期や授業料免除などの経済的支援を行ってきました。また、学長を発起人とし、信州大学学生自治会連合・信州大学学生生活協同組合と協力して義援金の募集を行いました。

今後一層、教育・研究の両面において、安全で環境負荷の少ない社会への貢献を進めるため努力してまいります。

## Fii施設および先進植物工場研究センター開所式・祝賀会

平成23年6月4日、上田キャンパスにおいて「ファイバーイノベーション・インキュベーター（Fii）施設」と「先進植物工場研究教育センター（SU-PLAF）」の開所式を開催しました。

開所式は、山沢清人学長、濱田州博学部長の挨拶のあと、同施設・センターの概要説明が行われ、約120名が参加した施設見学会がありました。その後の祝賀会では、多くの参加者が交流を深めました。

Fii施設では、

- パイロット試作開発設備の設置
- 試作品性能評価システムの設置
- 学内人材（教員、技術員、学生、企業経験を有するコーディネーター）との有機的連携・多様（産産、産学、産学官）な共同研究の推進・個別開発研究の推進・大学と一体となった人材育成支援
- 地域産学連携支援体制の活用
- 国際的な情報ハブを活用した事業展開の支援、を行います。

SU-PLAFでは、

- 世界標準（40ft）冷凍コンテナを用いた自立的完全制御型植物工場の研究開発
- 植物生育技術開発と植物工場関係企業・団体・事業者に対する人材養成、を行います。



## 全国「大学の発明者」トップ50に繊維学部関係者 3人がランクイン

「2012年版大学ランキング」（週刊朝日進学MOOK 平成23年4月発行）の「大学の発明者」部門で繊維学部の谷口彬雄特任教授、村上泰教授、荒木潤助教がトップ50にランクされました。

ランキングは2001年-2010年の特許取得件数で順位付けされています。信州大学では谷口特任教授（10位、58件）、遠藤守信教授（13位、54件）、荒木助教（24位、45件）、村上教授（32位、41件）の4人がランクインしました。

なお、谷口特任教授は、高分子学会より平成23年度高分子学会フェローを受賞しました。（9月29日第60回高分子討論会において授賞式）高分子学会は、高分子科学・技術の発展に業績をあげ、また今後の貢献を期待できる会員に対し高分子学会フェローの称号を授与しています。谷口特任教授は、「有機エレクトロニクス分野の創成と発展における顕著な功績」が讃えられ、今回の受賞となりました。

# 平成24年度は入試が変わります！！

## ◆ 学部の系を3系から4系へ再編

受験生にとって、より選びやすく、より学びやすく！  
企業から見ても、わかりやすい名称に！

創造工学系

先進繊維工学課程  
機能機械学課程  
感性工学課程

化学・材料系

応用化学課程  
材料化学工学課程  
機能高分子学課程

応用生物学系

バイオエンジニアリング課程  
生物機能科学課程  
生物資源・環境科学課程

**繊維・感性工学系**

先進繊維工学課程／感性工学課程

**機械・ロボット学系**

機能機械学課程／バイオエンジニアリング課程

**化学・材料系**

応用化学課程／材料化学工学課程／  
機能高分子学課程

**応用生物科学系**

生物機能科学課程／生物資源・環境科学課程

先進繊維工学課程と感性工学課程は、課程単位で入試を行います。  
機械・ロボット学系、化学・材料系、応用生物科学系は、系単位で入試を行います。

大学院も平成24年度から

「繊維・感性工学専攻」、「機械・ロボット学専攻」、「化学・材料専攻」、「応用生物科学専攻」  
の4専攻へ改組します。

## ◆ 前期日程に名古屋試験場を設置

平成24年度前期日程入試では、上田キャンパス会場に加えて、名古屋会場を新設します。

≪試験場は出願時に選択する必要があります≫

東海地方、西日本の受験生がより受験しやすくなります。

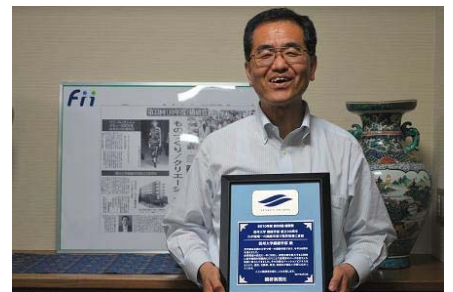
会場は名古屋国際会議場です。（JR名古屋駅から約20分／中部国際空港から約40分）

### 繊維新聞社が毎年贈呈している「織研賞」に2010年度は繊維学部が選ばれました

贈呈式は、平成23年6月10日東京都中央区にあるロイヤルパークホテルで行われました。繊維学部は昨年度に創立100周年を迎え、今や国内唯一の繊維学部として長きにわたり繊維業界に貢献してきたことが、受賞の理由となりました。

「織研賞」は、繊維・アパレルメーカー・小売業でファッションビジネスの発展に寄与した個人・団体・企業に贈られます。

過去には、ヒートテックを共同開発したユニクロ・東レやファッションサイト「ZOZOTOWN」を運営するスタートトゥデイ、クールビスを提唱した環境省（以上敬称略）など、多くの著名な個人・団体・企業が受賞しています。



## 2011「青少年のための科学の祭典」上田大会を開催しました

次代を担う子ども達に、科学やものづくりの楽しさを様々な実験や体験学習で伝える「青少年のための科学の祭典」、今年は上田で開催されました。

日程：平成23年8月6日(土)～8月7日(日) 午前10時～午後4時

会場：信州大学繊維学部キャンパス全体

入場者：小中高校生，一般を合わせて約1,200名

出展ブース：約80件

(主催：2011「青少年のための科学の祭典」上田大会実行委員会，(財)日本科学技術振興財団・科学技術館)

「平成22年度信州大学繊維学部卒業生50周年行事(学9回生)」でお寄せいただいた寄附金にて講堂の椅子(350脚)を新調いたしました



繊維学部を卒業後、50周年を迎えた同窓生の方々よりご寄附いただきましたので、「是後輩である在学生や将来入学してくる学生のために」と、繊維学部教務委員会で用途を検討いたしました。

## 教員の受賞など

- ・先端的低炭素化技術開発事業(ALCA)プログラムに、材料化学工学課程 杉本渉 准教授の課題が採択されました。(平成23年2月10日発表)
- ・ナノテク高機能ファイバーイノベーション連携センター 福田勝利 助教が日本放射光学会奨励賞を受賞しました。(平成23年3月10日発表)
- ・ファイバーナノテク国際若手研究者育成拠点 鈴木大介 助教が高分子学会Polymer Journal論文賞-日本ゼオン賞を受賞しました。(平成23年3月10日発表)
- ・感性工学課程 高寺政行 教授の研究グループが、Emerald Literati Network 2011 Awards for Excellenceを受賞しました。(平成23年4月20日発表)
- ・先進繊維工学課程 西松豊典 教授らの研究グループが日本繊維機械学会論文賞を受賞しました。(平成23年5月27日～28日 第64回日本繊維機械学会にて)

## 今後の行事予定

- |           |                             |
|-----------|-----------------------------|
| 10月22-23日 | 東雲祭                         |
| 10月23日    | ホームカミングデー、<br>第2回オープンキャンパス  |
| 12月7-9日   | 第6回先端繊維国際会議<br>(ICAFTM2011) |
| 12月7-8日   | 第2回アジア防護服会議<br>(APCC)       |
| <平成24年>   |                             |
| 3月24日     | 卒業式・学位記授与式                  |
| 4月4日      | 入学式(松本市)                    |
| 4月6日      | 大学院入学式(長野市)                 |

## 日中韓学生シンポジウムを開催しました

平成23年8月29日-9月4日、繊維学部キャンパスにおいて、日中韓学生シンポジウム

“The 4th International Symposium on High-Tech Fiber Engineering for Young Researchers”を開催しました。

本シンポジウムは、3カ国の繊維科学分野の大学院生に研究発表と討論、国際交流、文化交流の機会を与えることを目的としています。

中国からは蘇州大学15名、韓国からは建国大学校5名、檀国大学校5名、全北大学校5名の合計30名の大学院生が来日しました。



## 信毎広告賞受賞!

平成22年10月23日付け信濃毎日新聞(朝刊)に掲載しました創立100周年広告が、第40回信毎広告賞(信濃毎日新聞社主催)の準優秀賞に選定されました。



# 学生の活躍

## 機能機械学専攻 加納 徹さんが日本機械学会北陸信越支部賞学生賞を受賞

大学院工学系研究科機能機械学専攻 加納 徹さんが、平成23年3月4日に信州大学繊維学部で開催された日本機械学会 北陸信越学生会第40回学生員卒業研究発表講演会において「X線CT画像におけるメタルアーチファクト低減手法」と題して研究成果を発表し、日本機械学会北陸信越支部賞学生賞(卒業研究発表の部)を受賞しました。

本研究は、X線CT画像を用いて電子デバイスなどを非破壊に検査する際に発生するメタルアーチファクトと呼ばれる画像の乱れを有効に低減する方法について検討したものであり、研究成果の独創性および発展性が高く評価されました。

なお本研究は、繊維学部応用生物学系バイオエンジニアリング課程の小関道彦准教授の研究室において卒業研究として取り組んだものです。



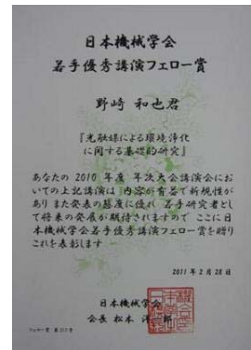
## 機能機械学専攻 野崎和也さんが日本機械学会若手優秀講演フェロー賞を受賞

工学系研究科 機能機械学専攻 姫野研究室 修士課程2年 野崎和也さんが、2010年度日本機械学会若手優秀講演フェロー賞を受賞しました。

この賞は、日本機械学会がフェロー寄付金に基づき、優れた講演を行った学生員、准員および修士課程(博士課程前期)修了後1年目の正員に対して授与するものです。

受賞の対象となったのは2010年度日本機械学会年次大会(9月6-8日開催)において講演した「光触媒による環境浄化に関する基礎的研究」です。

現在、姫野研究室では直接接触凝縮効果を利用した高効率な環境浄化技術に関して研究を行っており、排ガス中に含まれる環境汚染物質を捕集するとともに、クリーンな状態にして排出することを目指しています。その方法として光触媒の利用を検討しており、本研究では基礎研究として、光触媒を塗布したガラスビーズを充填層とした反応槽を製作し、その基礎的特性を実験的に明らかにしました。



## 「ハナサカ軍手プロジェクト」がソーシャルアントレプレナー賞を受賞

『第7回キャンパスベンチャーグランプリ東京』において、繊維学部の学生達が創り上げた「ハナサカ軍手プロジェクト」が、ビジネス部門のソーシャルアントレプレナー賞を受賞しました。

2月3日に都内のホテルグランドパレスにて行われた表彰式には、プロジェクトメンバーの内田成津起さん(バイオエンジニアリング課程3年)と富田孝行さん(感性工学課程2年)が出席しました。

この賞は、社会や地域に対する貢献度が特に高いと認められる事業に与えられる賞です。

売上で得た利益は全てこどもたちへのプレゼントに還元するなど、利益を追求するのではなく地域社会のことを考えた取り組みが高く評価されました。



(写真：前列の右から4番目が内田さん、二列目の一番右が富田さん)